

漁船海難ゼロへ！

漁船海難月報 平成26年5月号
第七管区海上保安本部交通部安全課発行
※月報4月号は欠刊とします

平成26年4月七管内漁船海難 計7隻

(衝突:3隻 運行障害:2隻 推進器障害:1隻 転覆:1隻)

【転覆海難の概要】

- ・ 養殖イカダを固定中、船内の重量物を移動させたため、バランスを崩し転覆し、乗員1名が負傷（左前腕部骨折）したが、救命胴衣を着用していたため、大事には至らなかった。

【運行障害】

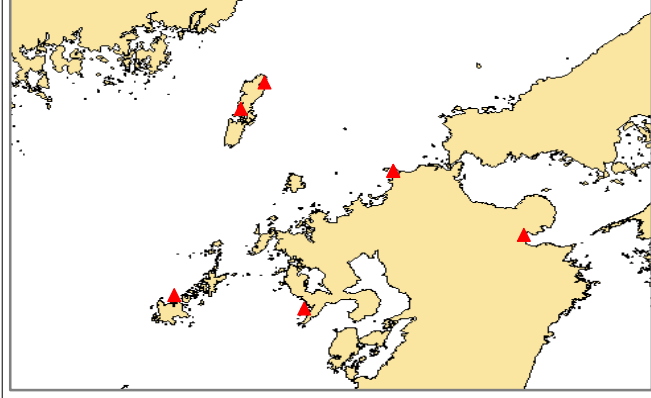
- ・ 2隻とも船長の海中転落による無人漂流で、船長2名は亡くなりました。



漁船海難隻数 (速報値)	
衝突	3
転覆	1
推進器障害	1
運航障害	2
合計7隻	

県別 (内訳)	
山口県	0
福岡県	2
佐賀県	0
長崎県	4
大分県	1

今月の海難発生地点



海難は多種多様であり、その要因等も様々です。そこで、月報一刊に付き一つの海難にスポットをあて、要因を分析、その海難を防ぐにはどうしたらいいか分析したものを、シリーズ(10回程度)にして掲載します。今回は、転覆にスポットをあてました！

海難対策シリーズ1: 転覆

転覆とは？・・・船舶が、外力、過載、荷崩れ、浸水、転舵等のため、90度以上傾斜して復元しないものをいいます。(海上保安庁内基準)

転覆海難要因トップ3

1. 気象・海象不注意
気象海象の判断の誤り・警報等への無関心
2. 操船不適切
波を船体真横から受けるなど。
3. 異常気象
竜巻・潮位変動・三角波・あびき等の予測不能な気象海象

転覆海難を防ぐには？

- ☆TVやラジオにより当日の気象海象情報をチェック！
- ☆自船の船型にあった操船(時化の日は出漁を避ける、波は真横から受けないようにする等)
- ☆海域の特徴把握(この海域は風が強い日は波が立ちやすい)